



今年の夏はこのほか暑い日が多く、秋の到来が待ち遠しかったですね。夏の終わりに、朝夕の涼しさを感じ、虫の声を耳にし、木々の葉っぱや自然の様子少しずつ、秋が来ていることを教えてくれました。今年の夏は、こわいおはなしをたっぷり語りました。秋には、どんなおはなしを語ろうかと、準備をするのも楽しいです。子どもたちがキラキラとした目でおはなしを楽しんでくれるのを思いながら…。ステキなお話をお届けします♪



秋に聞きたいおはなし

ちょうふく山のやまんば

夏のはれた時でもてっぺんが見えないほど高い、ちょうふく山。そこには恐ろしいやまんばが住んでいるという。

十五夜の晩、外にでて月見をしていると、にわかには嵐がやってきて、「ちょうふく山のやまんばが子供産んだから、餅をもってこい」という声。

村の人たちが相談して、あかさばんぱという年寄り道案内し、だだ八とねぎそべが餅をかついで山に登っていくと…。

絵本もありますが、耳で聞くと、イメージがどんどん広がります。



日本の昔話3 ももたろう
小澤俊夫 再話 赤羽末吉 画
福音館書店



秋に読みたい絵本

ぼくのいまいるところ?

今年亡くなった、かこさとしさんの「かこさとし かがくの本」シリーズの中の一冊です。

「あなたのいまいるところはどこですか？」少年の瞳が、小さな自分のいるところから、だんだんと広がっていき、大宇宙へズームされる。そしてまた、大宇宙から、自分の今いるところへと戻っていく。

広い宇宙の中に自分が存在するということを意識するのは大きな子～大人で、小さな子はただ単純に楽しんでくれます。

それでも、自分探しの小さな第一歩になってくれるのでは、と思います



かこさとし 著
大田大輔 イラスト
童心社



2018年夏 図書館おはなし会のおはなし

- 6月 ついでにペロリ (おはなしのろうそく)
- 7月 ヘルメスときこり
じいじいよ
- 8月 元気な仕立て屋 (イギリスとアイルランドの昔話)



学校訪問や学童保育のおはなし会

対象の子どもたちにあわせて、バリエーション豊かなおはなしをお届けできました。

「ねむりひめ」「小石投げの名人タオ・カム」「王子様の耳はロバの耳」「ミアッカどん」「ヤギとライオン」「ついでにペロリ」「はらぺこピエトリン」「ふしぎなたいこ」など

8/11(土) Miraie の「子どもプラザ夏まつり」イベントの一環として「こわいおはなし会」をしました。いつもよりずっと暗い中でのこわいおはなし、付き添いの大人の方にも楽しんでいただけました！
「くらーいくらーい(明かりが消えたあとで)」「こんな顔(子どもに語る日本の昔)」「指輪(おはなしのろうそく)」



図書館おはなし会



毎月第2土曜日 午後2時～(30分程度)
おはなしのへやにて

対象：6才ぐらいから大人まで
(言葉だけのおはなしを楽しんでもらうため)

内容：ストーリーテリングと絵本
※予約はいりません。お気軽にご参加ください

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館 (電話 0795-23-5991)
パルランド 丸山 (電話 090-8930-0921)

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

